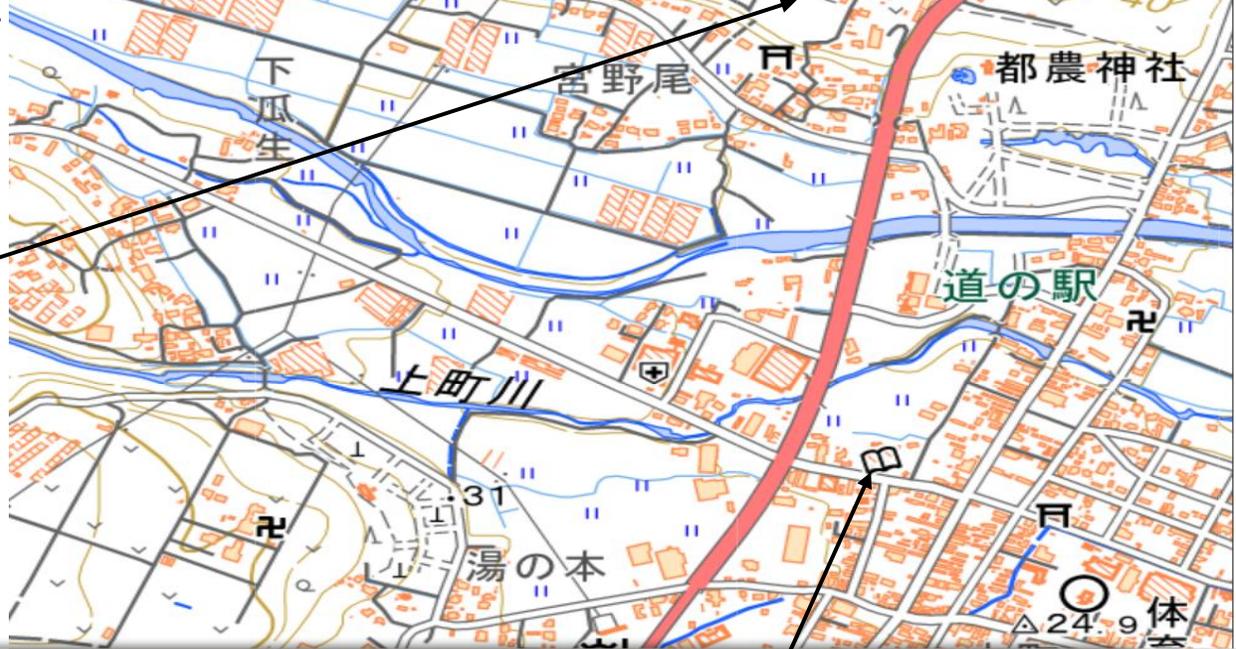


作成：Bグループ
10班
1/3



藤見公園

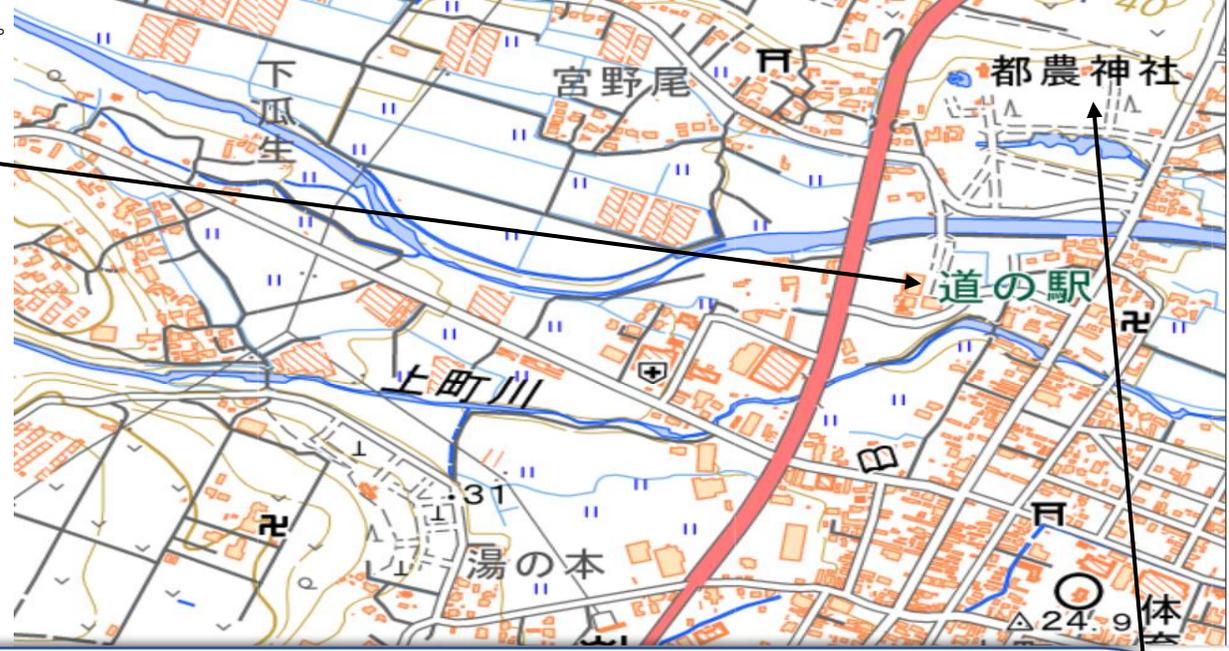
熊野神社を過ぎたところに広場がある。訪れた際に家族が3組ほど遊びに来ており話を聞いたところ都農町では遊ぶ場所がこの藤見公園かワイナリーしかないため多く訪れると話していた。遊具も比較的新しく公園自体も子供たちも走りまわれるほどの広さで公共施設として充実しているといえる。道路を挟んで野球場、陸上競技場があった。陸上競技場では地元の中学生在が部活動に励んでおり規模は大きくはないが観客席が設置されていた。公園内ではペットを自由に遊ばせてあげられるドッグランのような空間が設けられていた。ヤギが飼われており、明確な理由はわからなかったが周りの雑草を食べていたため雑草除去の役割を担っているのではないかと考えた。



都農町民図書館

を供がふ方始てい話子館のの、したおに書で民い対し方に特図市町思にに減町くりかた場所の職者都みちなされの用な、持は住が館利んりので移な書でそた種のくつ影響。つのるしと。影た行花な新人たのいを。にて、っすてしるけして、だるっ出いかとしいイヤしてっ所とれウし貸しき場口きナっををるる窓く口お本りれきの広コとに帰訪で初は型の校ちを信最内新しい学持館発を館ろてての書を館がこっし種図報書たとまとのや情図したしみ花話、しがいて組、会た成じだっり催とま作た。感た減取開な。をい古て者い市成い一れはせ用てんのと力さは利っほ花た書話外聞の行るとめ図と

作成：Bグループ
10班
2/3



道の駅つの

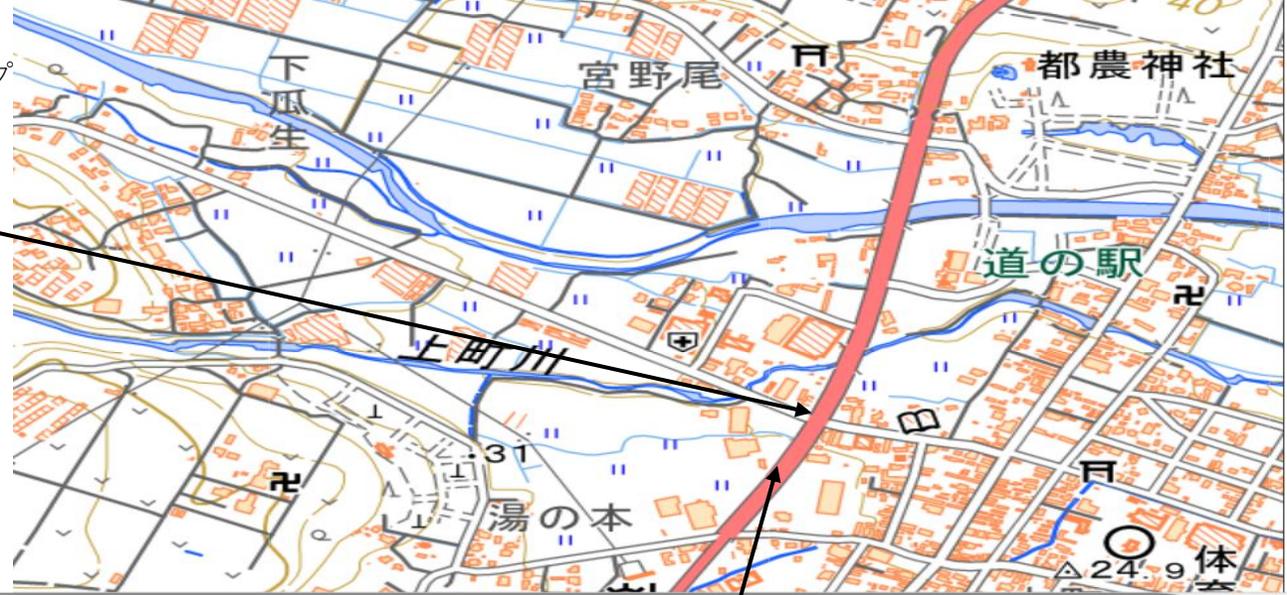
都農町や川南町でとれた野菜やフルーツ、その地域ならではの加工品が並ぶ道の駅。都農インターチェンジから車で5分、国道10号線沿いという好立地で館内は客でにぎわっていて駐車場もかなり埋まっていた。私たちの訪れた5月の下旬にはマンゴーやトウモロコシ、キュウリなどといったものが売られていてこの地域限定のスイーツとして他のお客さんからも注目を集めていた。都農町はトマトの生産量が県内一番であるため、道の駅の中でも多く売られていたし町内の路上で無人販売もされていた。ソフトクリームやスナック菓子に加工しても売られていた。また敷地内にポケモンマンホールが設置されていて何人か写真を撮っている人もいた。このポケモンマンホールは近年町おこしのために全国各地で設置されている。

都農神社



大己貴命（大国主命）が御祭神の神社。神武天皇がこの地に立ち寄り国土平安、海上平穏、武運長久を祈念し祭神を祀ったとされる。都農神社の中にあるご神殿には全国から人が訪れていて、実際に鹿児島から参拝しに来たという人にも出会った。また都農神社から約1キロ先に奥宮滝神社というところがあり、そこは耳病平癒、雨乞いや日乞いの信仰が篤いとされている。大国主命と関連があるうさぎやねずみが境内の中や御朱印、御朱印帳にいて参拝者を楽しませるような工夫がされていた。神社の宣伝や情報発信をもっとすれば都農神社を目当てに都農町を訪れる人も増えるのではないだろうか

作成：Bグループ
10班
3/3



国道10号線

都農町は国道10号線に沿って栄えていた。国道10号線沿いにAコープやダイソー、ローソンといった生活に便利な施設が集まっており、生活の利便性を確保するためか民家が国道10号線近くと都農駅側に固まっていた。国道10号線の交通量はまばらで自家用車が交通量の多数を占めていた。国道10号線を通る自家用車が多いところを見るに多数の人が通勤に自家用車を使用していると考えられる。国道10号線は道の両端に幅3mほどの歩道が整備されていた。また、必ず信号機が整備されており、歩行者の安全について配慮されていた。一方、国道10号線を外れると、ほとんど信号機が存在していなかった。歩道は都農町国民健康保険病院や都農神社周辺といった利用者が多い地域を除いて歩道がなく交通量が少ないため、飛ばす車が多く、危険を感じるがあった。また、県道や町道の道路整備が行き届いていないのか、でこぼこで安全に影響を及ぼすであろう場所がいくつかあった。都農町は歩行者の安全について、歩道や信号機といった面だけでなく、交通量が少ないために高速で運転をする利用者の問題があるといえるだろう。

バス停

私たちは今回の実習で道の駅つこのバス停と都農町国民健康保険病院のコミュニティバス停に訪れた。宮崎交通のバスは高鍋バスセンター行きで1、2時間に1本のバスが確保されていた。コミュニティバスは平日に8時49分から15時58分まで毎時2～3本のバスが確保されている。コミュニティバスの行き先としてはAコープや都農町役場、都農町立病院といった生活に必要な施設の行先に設定されている。このことから少なくとも都農町ではバスは基幹交通として成立していないと考えられる。理由の一つは都農町自体が車社会であることだろう。実際に町民の方に話を聴いて、車で移動することがほとんどのことだった。もう一つはバス本数が確保されていないため、使用に難があることだろう。コミュニティバスは土休日は運行されておらず、宮崎交通のバスでは2時間に一本という使いにくいダイヤ設定である。これらに理由のために基幹交通として成立していないと考えられる。移動に難がある高齢者やこどもの移動を支えられる基幹交通として成り立たせるにはドアトゥドアの交通体制が必要だと考える。具体的にはオンデマンドバスや配車サービスの活用である。このように交通弱者でも都農町で快適に暮らしていけるような体制づくりが必要と考えた。

